

事業所名	グループホームカーサハモニカ (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成19年 3月30日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 理学療法士 資格・経験 理学療法士、介護支援専門員、ガイドヘルパー講師(3年) B:現職 介護支援専門員 資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、介護老人福祉施設(約10年)
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述) ○入居者主体の、入居者の穏む生活を目指している。また、入居者と家族との中間的役割を考慮しながら、個別のケアに取り組んでいる。 ○『お年寄りにやさしい施設』をモットーに、入居者に対し「受容の態度」と「やさしい言葉遣い」、「明るいまつぱら」で接し、「創意・工夫」の意識、「気配り・目配り・注意力」の習慣づけ、入居者個々のADLの把握、プライバシーへの意識、痛みを分かち合う心、介護技術の研鑽への意識、環境整備への意識等職員がプロ意識を持ってケアに取り組んでいる。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述) ○入居者がストレスを溜めないよう、ドライブや行事を企画して気分転換を図ったり外食を楽しむ等、日々の生活にメリハリを与えて雰囲気を変える工夫をしている。 ○職員は、入居者が共用空間の好きな場所でくつろいだり、気の合う者同士が居室で気ままに過ごすのを温かく見守り、入居者の生活リズムを乱さないようにしている。 ○1対1でゆっくりと入居者の話を傾聴し、思いを表出できる場面を作っている。 ○職員は、あわてず騒がず落ち着いて行動するように心がけ、入居者に不安感を抱かせない対応をしている。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	

外部評価の結果

講評 全体を通して特に良いと思われる点など(記述) ○岡山市東部に位置し高台にあるホームの裏手には、葡萄畑や梅畑が見える。近くには小さな神社や池があり、散歩道として格好の場所もある。また、車で数分の所には、スーパーや商店・大きな公園もあり、外出を楽しめる環境がある。 ○同じ敷地内には、特別養護老人ホーム・デイサービスセンター・ケアハウス・訪問看護ステーションなどが併設されており、高齢者の支援体制・協力体制が整っている。また、地域のボランティア団体や、近隣の小学校などとの協力や交流が確立されている。 ○ホームの特徴として外に出掛ける機会を多く設けており、入居者は散歩や買い物はもちろん、法人全体での行事への参加・小学校訪問・春や秋の遠足などに出かけている。他にも、外食担当職員が入居者の希望や相談を受けて企画し、入居者好みの外食も楽しんでいる。誕生日には、個人のゆかりの地にドライブしたり、家族と共に家に帰ったりもしている。 ○普段は給食方式を取っているが、選択メニューの日やクッキングデー、ボランティアによる調理の日を設け、希望に沿った献立・買物・調理などを楽しむ工夫がなされている。 ○広く清潔な居室で、料金も安く設定されている。全室トイレを完備しており、個人のプライバシーの保護にもなっている。 他に改善の余地があると思われる点(記述) ○職員が入居者と一緒と同じ食事を楽しむ機会は調理する日のみとなっており、普段の食事での配膳準備や食卓を囲んで家族のように食事を楽しむ工夫が必要と思われる。
--

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にした整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述) ○一人ひとりの能力や意思を尊重し、それぞれの趣味や役割を楽しんでできるよう支援している。入居者は職員に見守られながら、おやつ作りの手伝いや下着等をされている。昼食後、全員の食器を洗って片づけている男性もおられた。モップ掛けや花の水やりは当番を決め、居室のカレンダーに印をつけている。 ○挨拶ややさしい言葉遣い、さりげない誘導を実行し、礼節を守りながら入居者のプライバシー保護に努めている。 ○面会者には、まず事務所窓口で個人別面会簿に記入してもらっている。 ○個人の情報や記録類は、すべて事務所に保管して慎重に取り扱っている。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
33	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
34	地域との連携と交流促進	○	
35	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述) ○ホーム通信や個人アルバムを制作する他にも、毎月、入居者一人ひとりの生活面、ケアプラン、医療面の項目にまとめて家族に生活ぶりを知らせる等、入居者、家族、職員間の良い関係づくりに努力している。 ○管理者と職員は、問題発生時には随時話し合いを持ち、問題解決に向けて取り組んでいる。 ○3ヶ月ごとに年4回、入居者も参加して避難訓練を実施している。また、毎日防火チェックを行い、災害防止に努めている。 ○研修会への参加や勉強会、講習会が充実している。外部から講師を招いて話を聞き、蘇生法について学ぶ等ケアサービスの質の向上に向けて取り組んでいる。		